

2024年度 石川県立看護大学 卒業研究発表会 プログラム

午前部					
開始時刻	9:00 はじめの会 学長挨拶(大講義室)				
9:15	移動				
発表会場	大講義室			中講義室3	
開始時刻	抄録ページ	研究題目	開始時刻	抄録ページ	研究題目
9:20	1	健康成人を対象とした振動器内蔵エアマットレスを用いた下腿局所低周波振動の血流増加持続効果の検証	9:20	21	西田幾多郎の海水浴と当時の健康意識についての考察
9:32	2	看護師へのアピアランスケアの周知プログラムの構築—がん看護に従事する看護師が抱くアピアランスケアの目的・意義の認識の実態調査—	9:32	22	西田幾多郎のパン食に関する文献調査
9:44	3	多職種連携による周術期の疼痛緩和に関するスコーピングレビュー	9:44	23	思春期女子のHPVワクチン接種促進に関する父親への介入研究:スコーピングレビュー
9:56	4	終末期がん患者のリンパ浮腫ケアに対する圧迫療法の実践—多職種による語りから—	9:56	24	思春期男子のHPVワクチン接種促進に関する親への介入研究:スコーピングレビュー
10:08	5	褥瘡悪化を予測するポイントオブケア検査におけるATP液相化法の開発	10:08	25	早期流産を経験した女性とその家族への支援に関するスコーピングレビュー
10:20	休憩				
10:40	6	化学療法誘発性末梢神経障害予防に向けた健康成人を対象とした手部冷却による流動血管と皮膚温度・苦痛の比較:実験研究	10:40	26	妊娠前の葉酸サプリメント摂取促進に向けた教育介入方法のマッピングレビュー
10:55	7	医療従事者を対象としたリンパ浮腫エコーアセスメントe-learning教育プログラムの効果:一群前後比較試験	10:55	27	助産師養成学校における妊産婦のメンタルヘルスケアに関する教育の現状~助産師養成学校のシラバス分析から~
11:10	8	車中泊における体圧分散方法の検討および加振機能付きクッションを用いた血流促進効果の検証	11:10	28	看護系大学生のためのセルフ・コンパッションプログラムの開発と形成評価
11:25	9	段ボールベッドにおける体圧低減方法と加振による血行促進の検討	11:25	29	ウィリアム・ラスボーンの書簡群(フローレンス・ナイチンゲール宛)の転写・内容解釈・史的意義の考察—石川県立看護大学附属図書館所蔵書簡と照らし合わせて—
11:40	10	自然災害を被災した方が抱えている不安や要望の明確化による継続的な支援の考察	11:40	30	フローレンス・ナイチンゲール著『カサンドラ』にみる社会構造に基づくジェンダー観
11:55	昼食 休憩				
午後部					
発表会場	大講義室			中講義室3	
開始時刻	抄録ページ	研究題目	開始時刻	抄録ページ	研究題目
13:00	11	病棟看護師が行う認知症高齢者の退院支援—意思決定支援に関する実態調査—	13:00	31	避難所施設における室温の変化—8月~10月の調査結果—
13:15	12	認知症VR映像視聴による看護学生への学習効果	13:15	32	高齢者体験キット着用が歩行動作に与える影響
13:30	13	医療・看護ケアを要する在宅で過ごす心不全療養者の下大静脈径の評価	13:30	33	能登半島地震に対する学官民連携による健康支援活動とその効果
13:45	14	病棟看護師チームの身体拘束回避に至る意思決定プロセスと影響要因—複線径路・等至性モデルを用いた質的研究—	13:45	34	スモールチェンジ活動を取り入れた身体活動の実技授業が大学生の運動習慣に及ぼす影響
13:57	15	HPVワクチンキャッチアップ接種行動の関連要因—若年女性を対象としたインターネット調査—	13:57	35	輸液ポンプの輸液管理演習におけるMRゴーグルを用いた演習方法の開発
14:09	休憩				
14:30	16	看護管理に関する教育を受けた看護師長が認識する組織マネジメント実践	14:30	36	アルクテゲニンは褐色脂肪形成リプログラミングを制御する
14:45	17	看護師・看護学生・理学療法士が歩行動作の自立を判断する際の着眼点	14:45	37	骨格筋の補体制御因子(CD59)の発現について—筋・神経筋接合部破壊を制御し重症筋無力症の新規治療に繋げる研究—
15:00	18	異なる水温で作製したシャボンラッピング法が皮膚清浄度、皮膚温、皮膚水分量、快適性に及ぼす影響	15:00	38	喫煙率に影響する生活時間について—都道府県別データをを用いた検討—
15:15	19	地域在住高齢者のeスポーツ体験における効果検証	15:15	39	統合失調症に関する映画の視聴が疾患・対象理解に及ぼす影響—精神疾患患者との接触体験の有無に焦点を当てて—
15:30	20	高齢者の生きがいやQOLの関連要因に関する研究	15:30		
16:00	片付け				
16:30	終わりの会(大講義室)				